

●活動目的

認知症による行動・心理症状や意思疎通の困難があつて、身体疾患の治療への影響が見込まれる入院患者に対し、専門知識を有する医師・看護師及び多職種が適切に対応をすることで、認知症症状の悪化を予防し、身体疾患の治療を円滑に受けられることを目的とする。

●活動状況

1. 認知症患者のケアに係るカンファレンスを週 1 回程度実施し、原則診察の上「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」のランクを判断して診療録に記録する。
2. 週 1 回以上、各病棟を巡回し、病棟における認知症患者に対するケアの実施状況を把握し病棟職員への助言等を行う。
3. 身体的拘束の実施基準や鎮静を目的とした薬物の適正使用等の内容を盛り込んだ認知症ケアに関する手順書(マニュアル)を作成のうえ、院内の必要な部門に提示して活用させる。なお、認知症ケアの実施状況等を踏まえ、定期的に当該手順書の見直しを行う。
4. 認知症患者に関わる職員を対象として、認知症患者のケアに関する研修を定期的実施する。
5. 看護部の認知症ケア委員会と認知症ケア推進のための合同会議の開催

●活動実績

1. 看護部認知症ケア委員会との合同会議 1 回/2 ヶ月
2. 教育研修活動
 - ① 室主催の研修会
2019 年 7 月 30 日(火) テーマ「BPSD って何？」
講師:真邊室長
参加者:68 名(医師:2 名、看護師:65 名、MSW:1 名)聴講。
 - ② 認知症ケア委員会と共同の「せん妄研修」
2019 年 12 月 3 日(火) テーマ「せん妄について」
講師:岸口精神科医師、認知症ケア委員 2 名
参加者:52 名(医師 1 名、看護師:60 名、)聴講。
 - ③ 認知症ケア委員会において事例検討会を行い、委員の知識やスキルの向上を図り、それを各部署に伝達講習することで各部署の看護師個々の認知症ケアに関わる質向上を図った。
 - ④ 院外研修参加
ユマニチュード研修基礎編 4 名参加 7/31
3. 学会発表
国立病院総合医学会 11/9 発表者:今川遥香 MSW
「MSW が認知症ケアチームで退院支援を行う意義」
4. 各種改定:認知症患者の看護マニュアル、認知症ケア加算運用フロー、認知症ケアチェックシート

5. 週一回のラウンドおよびカンファレンス

- ・ 毎週水曜日：A病棟
- ・ 毎週木曜日：B病棟、西棟

6. 月別および部署別ラウンドおよびカンファレンスの延べ件数

2019 年度

部署 月	10 A	10 B	9 A	9 B	8 A	8 B	7 A	7 B	6 A	5 A	西 2	西 4	月合計
4月	15	6	9	8	20	3	24	18	0	8	1	12	124
5月	20	14	18	4	18	22	22	13	0	5	1	16	153
6月	9	5	16	6	10	6	17	20	0	2	0	12	103
7月	18	2	19	0	15	10	16	12	4	5	0	21	122
8月	10	12	9	1	11	12	17	23	1	10	1	29	136
9月	14	1	14	5	14	13	13	17	1	14	0	19	125
10月	19	3	14	3	28	17	20	27	2	6	0	35	174
11月	10	4	16	3	13	13	9	35	2	15	0	38	158
12月	13	3	20	1	17	10	17	27	2	12	0	23	145
1月	8	9	24	13	7	9	11	24	0	8	1	11	125
2月	6	2	11	14	11	6	17	15	0	3	2	17	104
3月													
部署合計													1469

※ カンファレンスにより、加算対象外の判定や加算解除となった数も含む